

みのりの小道通信 2019年1月号

ミニ学術植物園「みのりの小道」を活用した
「学生・地域とともに育ち、歩む大学」づくり

島根大学(松江キャンパス)松江市西川津町 1060
TEL : 0852-32-6492 (生物資源科学部 事務室)
Email : yamagishi.kazuto@gmail.com (山岸)
平成 31 年 1 月 11 日 発行

私の職場のクリニック「こどもの園」(茨城県牛久市)は、主にフリースクール「こどもの SONORA」に今月から移行しました。SONORA は「園」と「野良」の意味です。「畑のある遊び場」としての野良は「半栽培」(野生と栽培との間にある植物を対象に、人と自然とが多様に関わる場づくり)状態で見守っています。前年のこぼれ種や掘り残した栄養器官等からの再生を大切に、それらを「見出す」「選択する」「バランスを保つ」「見守る」姿勢です。

計画されたプログラムの農作業には興味・関心を示さない子どもたちも、日常的に「野良」で楽しく遊ぶ中で、五感で様々な刺激や植物の持つ生命力を感じ取り、笑顔や会話が生まれています。植物も子どもも「頼りたい」と思っていない時から手を加えて煙たがられるより、「半栽培」の概念のように困ったときに頼られる存在でいたいと思います。そのためにも子ども達と何気ない日常をともに暮らす時間をこれからも大切にしていきます。

前回(11月21日)第166回公開作業

主な実施内容(Do)

参加者 31 名(一般 11 名、学生 13 名、教職員 7 名)で行いました。

できる作業・体験等: 体験_焚き火 体験_カリン・ザクロ・カキ・クルマミ収穫
体験_ヤーコン・ダイズ収穫 観察_クロタリヤ・皇帝ダリア・キクイモの花
試食_花梨シロップ・石榴シロップ・焼き芋 作業_落ち葉集め

みんなでやる体験・お話等: お話_多面的機能支払交付金検討委員会の紹介
体験_クリスマスリースづくり 紹介_島大陶芸部 告知_プレプレまつえ
キッズのプレーパーク 紹介_半栽培における植物との関わり方 交流_みのりの小道通信の発行

クリスマスリースづくり



アンケート結果等 1(Check&Action)

- ・体をどのくらい動かしたか; 極小 18% 小 36% 中 18% 多 18% 極多 9%
- ・本日の活動に満足したか; そう思う 64% 少しそう思う 36% どちらでもない 0% あまりそう思わない 0% そう思わない 0%
- ・印象に残ったもの(複数回答); 多面的機能支払交付金 42% クリスマスリースづくり 33% 半栽培のお話 33% ヤーコン掘り取り 25% ザクロジュース試飲 25%
- ・本日のみのりの小道を一言で表現すると? ; 穏やか、今年も終わり近いなー、触れ合い、色々な体験、秋と冬の間、道行けば/五感で味わう/秋終わり、果実の実りを味わう

晩秋の山陰としてはまずまずの天候。若干の肌寒さはありませんでしたが、すべての時間、屋外で青空教室ができました。

実は、前回 11 月のみのりの小道で、すでに 4 メートルほどの竹竿を使って学生に収穫体験してもらっていました。



アンケート結果等 2(Check&Action)

【全体的に】

紅葉の木々の下で今年最後の「みのりの小道」楽しかった
秋空の下、気持ちのよい空間だった
盛り沢山で楽しい時間だった
初めての参加で緊張したが皆さん優しく接していただけたので楽しかった
楽しかった
よく準備して、当日も動けたと思う

【提案】

柿の収穫を竹竿を使ったはさみ(はさみご)を作って、やってみては?
もし陶芸体験を行う際は室内の方が良いかもしれません
除草やマルチングなどでもやります。定期的に募集されてもよいと思う

今回(1月11日)第167回公開作業

主な計画(Plan)

できる作業・体験等:

体験_焚き火 体験_ブルーベリー・カキ剪定 希望者には担当株を割り当て、次回(3/11)までに挑戦! 体験_みのりの小道の看板づくり by 西澤(学生)&深田(教員) 試食_干し柿(長野産) by 山岸(一般) 試食_ダイズの加工品 by 西澤(学生)&深田・城(教員) 体験_餅つき・石焼き芋 by 杉原・米倉(一般)

みんなでやる作業・お話等:

試食_お餅・焼き芋 お話_山王寺での取組み by 野津(一般) お話_地域と大学生の連携による農村地域づくりの実践~「農村調査分析論」を通じて~ by 井上(教員) お話_ダイズのちょっと面白い話 by 城(教員) 報告_仕事を始めて約一年の卒業生 by 杉原・伊東(一般) 報告_参加者間で近況報告(5分間トーク) by 全員 交流_みのりの小道通信の発行 by 山岸(一般)

干し柿(長野産)



次回の公開作業等の予定(Plan)

今後は年に 4~6 回程度の不定期開催予定です!

第 168 回: 3 月 11 日(月) 14:00~16:00: 焚き火 落ち葉集め&落ち葉堆積場づくり ブルーベリー・カキ・ザクロの剪定 陶芸体験 卒業生の近況報告 卒論紹介

【紹介】山王寺での取組みについて by 野津健司(環境農業を広める会代表・出雲國まこもの会代表)

これからの時代のキーワードは、「共生」「健康」「癒し」

「環境農業」の普及

「CSA(Community Supported Agriculture)」の構築

浄化力・健康効果の高い作物の栽培：マコモ、紫菊芋、ヤブツルアズキ

『環境農業を広める会』と『出雲國まこもの会』の取組み

『環境農業を広める会』:

サポート会員制度、ランチ会、地元飲食店への出荷など

= 生産者と消費者・飲食店を直接繋ぐ仕組み創り

『出雲國まこもの会』:

・マコモ(真菰)の普及、耕作放棄地の活用、水・土・空気・人の浄化、農業収入の向上

・出雲大社本殿の注連縄、八重垣神社の茅の輪用に使う

・「第11回全国まこもサミット in 出雲」の開催(2020年5月31日)

「半農半X」のモデル創り

・農業関連で年収百万円を目指す。

・島根県や定住財団との連携



【紹介】地域と大学生の連携による農村地域づくりの実践 by 井上憲一(生物資源科学部教員)

農業経済学コースでは、2012年度以降「農村調査分析論」(2年次通年科目)において、同一地域(雲南市吉田町民谷地区、2016年度から飯南町獅子地区を追加)をフィールドに定め、地域と大学生の連携をはかっています。

学生は、調査設計、地域との連絡調整、イベント企画・実施、調査結果の取りまとめと発表を主体的に行います。

都市農村交流イベントの共同運営、HP・facebook・twitterの開設、郷土料理教室の開催、郷土料理のレシピ制作、神楽や運動会など地域行事への参画、単位取得後も地域との関係を継続する学生、などの成果を得ています。

2017年度感想文から抜粋:「何故、食文化を継承しなくてはいけないのか?」という問い(に対して) <中略>今私が考えることは、<中略>食の背後にあるストーリーの重要性である。そこから考えると食とは口承文学に近いのではないかと思う。<中略>日本中で皆が同じ物を食卓に並べる時代になっても、<中略>その地域の特性や先祖の暮らしを思い出すことが出来るものが郷土料理であり、だからこそ、その継承が必要なのではないだろうか。



獣害調査(獅子)



地域イベントに参画(民谷)



郷土料理教室を開催(民谷)

【報告】仕事を始めて約一年の卒業生 by 杉原小波・伊東航一(島根県職員)

元山岸研の杉原小波です。

学生の頃は、3年生のときに一つ上の4年生の先輩のお手伝いで、小学校での遊びや農作業の体験などさせてもらいました。4年生になってからもご縁があって福間さん、眞知子さんの農園では何度もお世話になりました。私は広島県の出身ですが、島根で就職しようと思ったのは山岸先生を通じて島根のいろいろな方と出会ったからです。

今は島根県農業技術センター(元:農業試験場)の技術普及部というところにいます。農業普及員の先輩方に付いて勉強中です。2年間の実務の後、普及員試験を受けて普及員になる予定です。今の担当はマーケティングです。島根県内の加工事業者の調査をしたり、1月には農林大学校で委託講師として、1度きりですが、授業をする予定があります。人前で説明をすることは一番の苦手とするところですが、今後もその機会は多くあります。普及員はたくさん喋ることが必須だと先輩から言われるので、苦手を克服できるように頑張ります。

山岸研卒業生の伊東です。

島根県に就職して、この春で一年になります。職場は島根県の中央部、邑智郡川本町にあります。ど真ん中を江の川が流れ、四方をひたすら山に囲まれた、かつてJA三江線が通っていた町です。

仕事のメインは邑智郡の新規就農者への栽培指導と、野菜の生産振興です。JAや町役場の方と共に現場へ行ったり、いかにして野菜を作って売り上げていくか協議したりします。ですが1年目の新人、最初は県や町、JA、生産者の方から学ぶことばかりです。現場や会議で高度な言葉がビュンビュン飛び交い、分からないことが分からん、今でもそんなときが多いです。

とはいっても給料をいただいていますし、何か出来る事はないかなあと考えてい

ます。例えば新規就農者同士の仲間づくりは、お互い切磋琢磨できる上、町や産地を盛り上げていこうとなるはず。それから担い手の減少などの問題は、やはり農業の所得が低い(農産物が安すぎる)ことに尽きる気がします。生産者と消費者を近づけ、現場の様子を知る人が増えたら変わるのかもと考えています。また学生時代にお世話になった松江駅本通りの美化活動は、就職してからほとんど行けていませんが、街が花で美しく、癒される空間へ、おまけに花の生産振興に...なればなあと思います。



江の川